

昭和山から出る煙って安全？それとも危険？

皆さんこんにちは！ジオパーク推進協議会・学術専門員の西です。昭和山に行くと、山から煙が立ち昇っているのをよく見ると思います。今回はこの煙の正体に迫りたいと思います！

①昭和山で見られる煙



昭和山では、このように白い煙が立ち昇っているのをよく見ます。これはいったい何なのでしょう？

②煙に関する研究



研究者は写真のように測定器を使って、煙の成分や山体の温度を測定します。昭和山の煙成分や山体の温度に関する研究は、これまで数多く行われ、成分が変動していることがわかってきました。

③煙の成分

表：火山ガスの化学成分

成分	濃度 (mol%)
水	96.0
二酸化炭素	2.64
硫化水素	0.54
二酸化硫黄	0.22
塩化水素	0.16
水素	0.34
一酸化炭素	0.003
窒素	0.06

(杉浦ほか、1992から引用、一部修正)

1992年の時点で、昭和山の煙のほとんどは水で、次いで二酸化炭素、硫化水素、二酸化硫黄、水素、塩化水素などが含まれていることがわかります。その他にも微量ですが一酸化炭素や窒素も含まれます。

④煙は安全？それとも危険？



昭和山の場合は、山の麓から見上げるくらいの距離があれば安全です。しかし、二酸化炭素、硫化水素、二酸化硫黄などの成分は人体にとって有害です。登山学習会などで、噴気孔に近づく時には十分注意が必要です。

ちなみに、温泉に行くと独特のにおいがします。それは硫化水素が原因です。

※昭和山への立入りは、許可が必要です。写真は許可を得て実施された学習会で、安全確認後に近づいています。